

がんばるバイクショップの

情報マガジン

ヤマハ ニュース

Yamaha News



ハローナイスショップ ● YSP高知

フロアスペースの有効活用

特集 ● 深まるスポーツセダンの魅力

やっぱり私はMajesty!

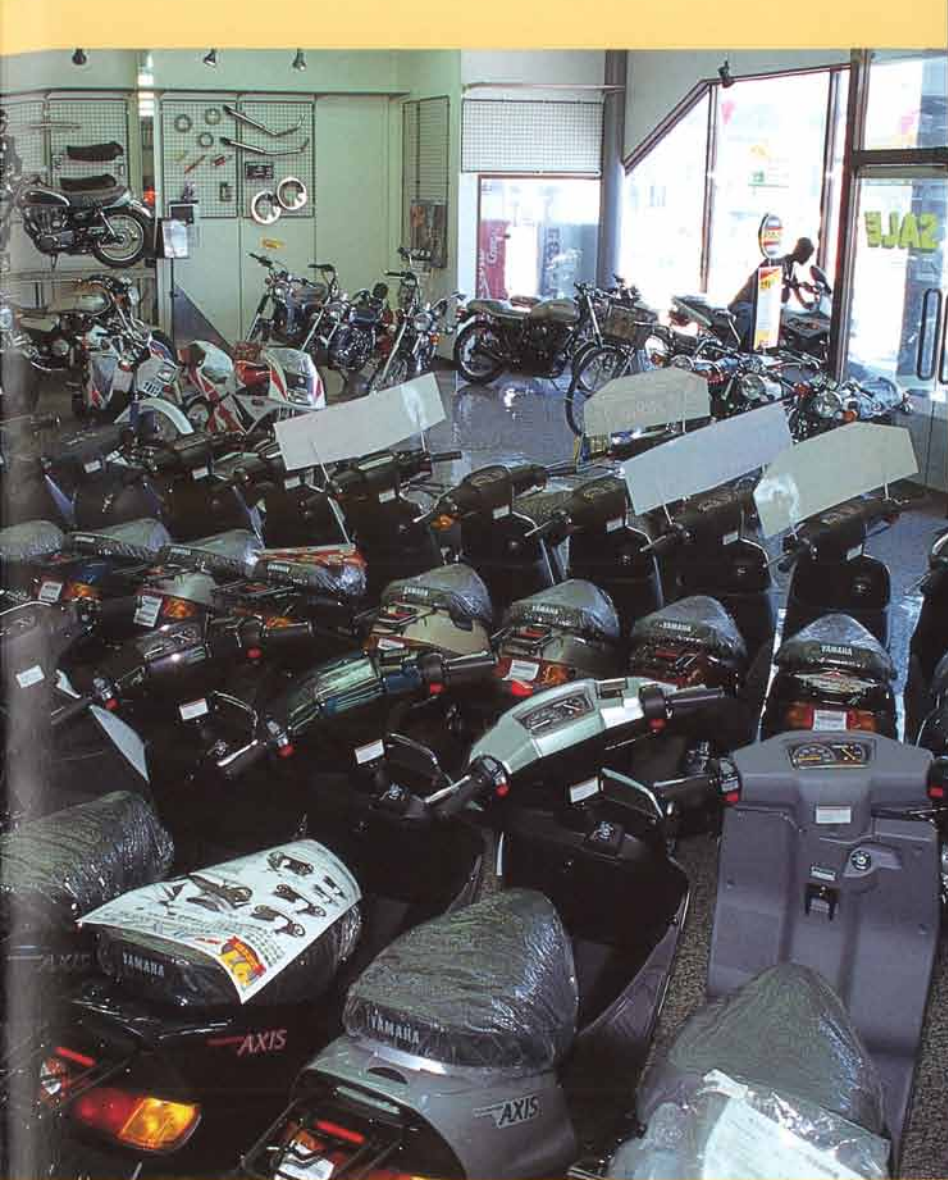
Open Eyes ●

アールベックス小平

次世代の自動車販売



エンジンの鼓動がダイレクトに伝わるトルキーな走り。コンパクトな車体と軽快な足回り。真のロードスポーツTRXが、ヨーロッパ・テイストを高めて新登場した。



YSP高知

高知県高知市 (掛水義男店長)

広がる店舗づくり フロアスペースの有効活用で

広いフロア面積を誇る『YSP高知』さん。
「よりお客さまが展示車を見やすく」するために、
このたび店舗をリニューアルした
掛水義男店長の耳にもお客さまからの
反響が届いているようです。

配置変えで 広がりを見せた店舗

店舗の内装を一新して、6月28日にリニ

ュアルオープンしたばかりの『YSP高知』さん。

壁と床を新しくしたほか、広い店内をよりお客さまにとってゆとりのある空間にすることを目指している。

「事務スペースの位置を、入口の方から反対側に移しました。今までは、お客さまが店の奥の方へ進むの邪魔するような形だったので、もっとスムーズに通れるようにしたんです。バイクの並べ方も、以前の店舗は広いスペースを無駄に使っているようなところも少しあったんですが、今度からはゆとりと並べることでお客さまにじっくり見てもらえるようにしました」

と掛水義男店長(31歳)。展示台の上にバイクを飾り立体的に見せる工夫もしている。

「スペースが広いので、平面的に置くインパクトが薄れるでしょ。だから、高さを変えることでメリハリをつけること

新たな気持ちで仕事に取り組む掛水義男店長。「少しでも他と違うお店にするために、これからも工夫を凝らしていきたいですね」





フロア展示のポイント、ポイントに工夫を凝らし、お客さまの目を引くようにしている



新しい内装でシャープな印象を与える展示スペース



身近なものを、 必要なものを中心に品揃え

店内に足を踏み入れて、目を引くものの一つが用品の豊富さである。壁の1面に並べられたヘルメットやブーツの数は100を下らない。

「ヘルメットに対する今のお客さまのニーズは、やはり半キャップにゴーグルが主流ですね。また最近ではブーツがよく売れるんですよ。大型の教習を受ける人が増えてきて、そのときにブーツが必要になるんです」

フロアの奥にもウェア、ケミカルを始めとする多くの用品が並べられ、試着室も備えられている。用品の仕入れを担当するのは長谷川裕子さん。女性らしい細やかな品揃えが棚から伺える。

「専門的なカスタムパーツよりも、普通のツーリングでよく使われるもの、必要となるものを中心にトータルに揃えることを第一に考えています」

若いスタッフが中心となって、活気にあふれた店づくりがYSP高知さんの魅力。

「県内唯一のYSPとして、ラインナップを豊富に揃えヤマハのショールーム、ヤマハの商品にこだわりのある店にしたいですね。ゆくゆくは地域ナンバー1と言われるような店を目指しますよ」

とリニューアルした店舗を前に、意気込みを語る掛水店長だった。

にしたんです。一緒に用品やパーツも置くことで、バイクの世界の広がりを感じられることも狙っています」
今回のリニューアルに対するお客さまの反応も上々だ。
「常連のお客さまには『前より広くならったんじゃない』とよく言われます。面積は少しも変わっていないんですけどね。店内の配置を変えただけで見通しがよくなったからそう見えたんでしょうが、そういう反応が多かったのは意外でしたね」

YSP高知

サービス

「優秀なスタッフがついているので、サービスには自信があります」
 本店の「浅倉モータース」と合わせれば県内随一の技術力が自慢だ。
 消耗パーツも豊富に在庫し、機材も揃えてお客さまを待たせないサービスを心掛けている。



客層

「うちのお客さんは若い人が中心ですね。近くに高校や高専があり、通学の手段として原付が必要になるので、16歳で免許をとる人が多いようです。スクーターだけでなくYB-1の人気も高い。中型以上ではTWやSRのパーツを付け替えて楽しんでいる人もたくさんいます」
 さらに、ビッグバイクの波も確実に訪れている。
 「やはり大型教習を受講しているお客さんがたくさんいますからね。正直期待しています(笑)。実際のところXJR1200やTRXが売れていますよ」

顧客管理

「人間と人間の付き合いを大事にすることがうちのモットー」という掛水店長。顧客管理といっても何も特別なことをやっているわけではない。
 「常連のお客さまは、バイクを買っていただいた人はもちろん、修理に持ち込まれた人も一人一人顔と名前とバイクが一致するように、コンピューター管理ではなく、付き合いの中で覚えるようにしています。うちのような専売店は安ければお客さまが来るというわけじゃない。もっとキメの細かいサービスが必要なんです」

用品コーナー



ステッカーなど気軽に買えるアイテムも数多く揃えている



アパレルコーナーには、試着室も備わっている

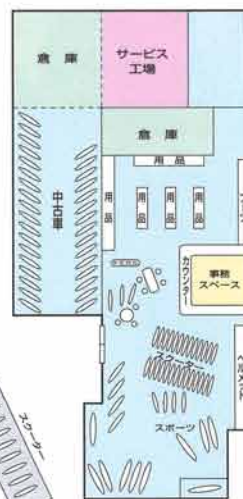


豊富な品揃えを誇るヘルメット

店舗



高知市内で「アサモさん」として名が通っているバイクショップ「浅倉モータース」さんの支店として12年前にオープン。高知駅から車で10分ほどの商業地域に位置する。
 地方雑誌での広告も多く展開しており、また半年ほど前、地元のTV局にスクーターを納めた緑でTVCMを放映したこともある。



スタッフ

(右から)
掛水義男店長
 「私は5年前までヤマハのセールスマンをしていました。そのとき学んだことに感謝するつもりでお店を盛り上げていきたいですね」

長谷川裕子さん
 「ヤマハ車以外に乗っているお客さまでも、メンテナンスに対応できるように用品を切らさないようにしています」

前田大輔さん
 「まだ店に入って4か月ぐらいなので、ミスのない、お客さまに満足していただける整備ができるよう頑張っています」





今年8月で、デビュー以来ちょうど3年目を迎えるYP250“マジスティ”。スポーツセダンという新しいコンセプトに基づくこの商品は、瞬く間にアダルトを中心とする幅広い客層をつかみ、軽二輪市場を席捲するベストセラー、ロングセラーとなった。

その人気の秘密はなにか？ライバル機種の登場によってさらに市場規模拡大が予想されるなか、マジスティならではのさまざまな魅力を、実際のお客さまに語っていただいた。今後のセールストークにお役立てください。

YAMAHA



特集●深まるスポーツセダンの魅力

やっぱり私は

MAJESTY!



齋藤英俊さん

新潟県長岡市・40歳・97年3月購入

私は昔からツーリングが好きで、今でも雨さえ降らなければ毎週末あちこちへ出かけてます。でも、数年前からだんだん握力が落ちてクラッチを握るのがつら

くなってきたり身体に疲れが残るようになってきた、大型スクーターを買おうと思ったわけです。

マジエスティに決めた一番の理由は、**両手ブレーキの良さ**。同じ姿勢で長時間走っているとすくすくつらくなるんですが、**マジエスティなら両**

足がフリーでフットスペースに邪魔な

フットペダルもないから、両足を前にドンと投げ出して乗れるし、ポジション自体もゆったりしていて動きやすい。

それでいて、調整式のバックレストが腰をしっかり支えてくれるので疲れにくく、すごくラクチンですね。

スタイルとか外観はあまり気にしませんが、マジエスティならツーリング先でも恥ずかしくない。このクラスでは一番カッコいいと思いますよ。

使い勝手の面では、**ダンパー付きのトランクが便利**。クルマで慣れているから、**あつて当然のように思う**けれど、ほかのスクーターには付いてなかったんですね。

大久保雅彦さん

東京都新宿区・31歳・97年5月購入

先日新しいライバル車を見たけれど、やっぱりマジエスティが最高！16歳のころから各メーカーのバイクをオン、オフ問わず乗り継いできたなかで、一番気に入ってるバイクですね。整備も、マニュアルを買い込んで、自分でやっています。

魅力のポイントは全部とい

たいくらいあるんですが、なかでもスタイルが一番かな。スクーターとは思えないほどのポータビリティ。特にリアまわりや穴空きディスクブレーキがカッコいい。それと、今年のモデルはモール部分の色が変わって、トータルなデザインがますますよくな

ったね。

最近までは50のスクーターで我慢してましたけど、以前からずっと欲しくて、これを買うのにタバコやめて妻を口説いたんですよ。

実際に乗っても、**燃費はリッター30kmを確保**するし、ブレーキ、コーナーリング、加速までほとんど文句なし。機能面では、**照明付きのメイントランクが便利**。明るい時はかり使うわけじゃないですから。

収納力も十分。私の場合、フロアシートのポケットは工具やウエスを入れる場所とか分けて使うので、マジエスティのように数が多いと助かりますね。

船山昭一さん

東京都大田区・48歳・97年5月購入

私はもともとバイクが好きでね、昔は仲間とツーリングクラブを作ってあちこち走り回ってましたよ。YDSの時代からヤマハを乗り継いで、今もXZ550とかYD250、ジヨグが残ってる。

マジエスティを買ったきっかけは、久しぶりに仲間とツーリングクラブを復活しようということになったから。でも、スポ



やっぱり私は MAJESTY!

※リアシートのバックレストはオプション



ーツバイクは気張って乗らなきゃいけないし、オートマチックで気軽に乗れる大型スクーターならいいかなと思っただけで選んだのがこれでした。

もちろんほかのメーカーの車種も、最近出たものまで含めて考えたけれど、やっぱりヤマハが好きだし、色といい、デザインといい、マジエステイが一番カッコよかった。決め手は外観ですよ。

機能や性能は、どれも同じ250のスクーターだからそれほど違わないと思うし、私はあまり気にしませんでしたね。

仲間たちとのツーリングは、でっかい外車と一緒に走るわけだから250じゃちょっとつらいところもありますが、**高速道路ならまったく平気**。ゆつたり威張って乗ってられるポジションと、大型の風防のおかげで楽に走ることができ。大変満足してますよ。

大川陽輝さん

大阪府東大阪市・41歳・97年5月購入

私は、何か特別な目的があつてマジエステイを買ったわけじゃないんですよ。それまで、仕事の移動用にアプリオを使っ

たんですが、街なかでマジエステイを何度か見かけて、すごくカッコいいなと思ったのがきっかけですね。

いってスポーツバイクにしようかなと、実はずいぶん悩んだんですよ。でも、これなら仕事と遊びの両方で乗れるでしょう。同じ250のスクーターでも、ほかはだめ。他社の一番新しいモデルだって、やっぱりスクーターのカタチというか、オジサンっぽいんです。マジエステイは、スクーターらしくないスポーツタイヤとか、色のセンスがいい。私のはグリーンですが、あんな色はほかにないですよ。

実用性についても、乗ってみてその良さに気づいたことがたくさんあります。例えば燃費。私は今仕事で毎日乗っていますが、アプリオだって1リッター30kmくらいなのに、マジエステイは28〜29kmも走る。経済的にすごく助かりますよ。

それと、リアのサスペンションが調整できるので、私は一番柔らかくして乗ってます。これだと乗り心地はいいし足着き性も良くなる。豊中や奈良あたりまで高速道路を使うことが多く、雨の日にも乗る私には、大型の風防やゆつたりしたポジションと合わせて、身体の疲れを減らしてくれる利点ですね。

荒川幸市さん

東京都小平市・42歳・96年5月購入

私、ほかに大型のスポーツバイクも持っているんですが、通勤や街乗りにも使えるコミューターが欲しかったんですよ。

特に通勤は、電車だと会社まで1時間ほどかかるのに、バイクなら半分で行けますからね。それと、満員電車はどうに



もつらくて……(笑)。ただ、スポーツバイクはスーツ着て気軽に乗れるものじゃないし、50のスクーターだと車体のサイズや距離の面で身体が疲れる。

何かいいバイクはないかな、と思っいたらマジエステイがあつたんです。これは、まず250のスクーターとして**最高の機能を備えている**。非常にラクなポジション、大きくて使いやすい収納スペース、上質な作り。

それでいて、スポーツバイクのようにスタイリッシュなデザイン、**乗って楽しい**キビキビした走りの性能。つまり、スクーターとスポーツバイク両方のいいところをうまく取り込んだ、シテイコミューターというにふさわしい1台なんです。

新しいライバル車も出てきましたが、まだまだ乗り換える気は起きないですね。

山口敦士さん

京都市右京区・23歳・97年5月購入

最初、新しく出た250のスクーターを買おうと思っただけなんです。でも、カタコグとか雑誌を見ていたら、どうもカッコが気に入らなくて……。

250のスクーターって最近よく見かけるじゃないですか。ボクは、今までスポーツバイクを3台乗り換えたし、50のスクーターは今も持ってますけど、大型スクーターって乗ったことがなかったから一度乗ってみたいかつたんです。

ドンと座って、足を投げ出して乗れるポジションが、すごく楽でいいですね。それに、スポーツバイクと比べると面白みが少ない分、**街乗りですごく機能的**。

今のところ、アルバイトの通勤とか身近なところでしか使ってませんが、彼女乗ってツーリングしたり、遊びに使うのも良さそうです。

下宮弘さん

和歌山県伊都郡・26歳・97年5月購入

マジエステイが発売されたばかりの頃だったと思うんですが、当時私は配送の仕事をしておりまして、荷物の運搬中にたまたまバイク屋の前に並べてあったマジエステイを見かけたんです。レジャーレブリカを乗りまわしていた学生時代ならともかく、バイクに乗らなくなっただけの話です。今さら、しかもスクーターなんか気になるのか自分でも不思議な気持ちでし





たね。

そんな気持ちで2年ほど持ち続けて、実際に購入したのは今年の5月です。直接的なきっかけは**新聞広告のタンDEMシーン**を見て、ほとんど衝動的に「妻と二人だけの週末を過ごしたい」「旅先でいろいろな風景を見せてあげたい」と思ったからです。私の場合、じつに目的がはっきりしていましたが、車種で迷うようなことは一切ありませんでした。遠くまで出かけても妻の負担が少ない、つまり**タンDEMシート**がゆつたりしているマジエスティがいろいろと。

先日もね、日本三美人の湯に数えられる龍神温泉まで走ってきたんですよ。効能どおり美人になったかどうかは置いて、妻が無邪気に喜んでる姿を見ているのが嬉しかったですね。

小林正司さん

静岡県富士市・60歳・97年5月購入

約4年間、やはり250ccクラスのスクーターに乗っていたんですが、車両が傷んできたのをキッカケにマジエスティに乗り替えました。他社のニューモデルも検討しましたが、最終的には**バックレストの形状**でマジエスティに決めました。

もともと私は腰が悪くて、伊豆あたりをグルッとまわってきただけで、翌日は仕事もできないほど痛くなってしまっていたんです。ですから新しい車両を購入するにあたっては、**シートの座り心**

地と姿勢(ライディングポジション)を重視しました。

実際、店頭で両方のシートに腰を下ろしてみたのですが、マジエスティには包み込むような安心感があった。これならずいぶん腰にやさしいだろうな、ということとで、決めたわけです。

鈴木潤一さん

宮城県桃生郡・29歳・97年9月購入

私のバイク探しには、3つの条件があ

りました。

ひとつは、クルマを2台所有しているのに、車検がなく、あまり**経費がかからない**250ccであるということ。ふたつめは、子供を乗せてゆつたりと走れるバイクだということ。**タンDEMの快適さ**を考えれば、やはりスクーターということになります。そしてもうひとつは、ずっと**ヤマハファン**なので、メーカーはヤマハということでした。つまり、私にとってマジエスティは、ごく自然な選択だったんです。



「前に乗っていたスポーツバイクよりもよく走る」と、ご満悦の岩田直樹さん

購入したショップは、値段を別にして、ちょっとしたうれしい気遣いがありました。直前まで乗っていた下取りバイクの査定をしに、仙台から1時間かけて平日の夜に訪ねて来てくれたんですよ。仕事をしているとなかなか出歩けないから、これは有り難かったです。

実際乗ってみて、マジエスティはとってもラクなバイクですね。以前セローに乗っていましたが、**のんびりツーリング**するにはマジエスティの方が快適。ゆつくりと景色を楽しみながら走れるんです。

リッター当たり約30kmと、燃費も非常にいい。経費を抑えるという最初の目的を、しっかりとクリアしています。

子供は3人いるんですが、小学校1年生の長男を乗せて走っています。今はまだ給油や買い物の時などに10〜20分乗せる程度ですが、これから徐々に長い距離に慣らして、夏休みには泊まりでどこかに連れて行って、思い出を作っておきたい。

いづれ弟や妹とリアシートの奪い合いになるのではと、楽しみにしています。

大矢知 繁さん

三重県四日市市・49歳・97年5月購入

マジエスティは、私にとっては30年ぶりのバイクです。学生の頃にはバイクに乗っていたのですが、社会人になると同時にバイクも辞めていたんですよ。

でも、通勤に便利そうなので、何となく興味に戻ってきたので、またバイクに乗ろうと思いついたんです。今まではクルマで通勤していたんですが、あまりにも渋滞がひどくてね。

やっぱり私は MAJESTY!



購入の際には、もちろんいくつかのライバル車と比較しましたが、マジエステイの方がデザインが新しく、スタイリングが気に入りました。シヨップのスタッフにも、マジエステイを勧められましたしね。

近々新しいスクーターが出るという噂も聞きましたが、出たところで大差なかるうと、全然気になりませんでした。今では雨の日以外は毎日、マジエステイで通っています。おかげさまで、クルマで行くよりもずいぶん便利になりましたよ。

岩田直樹さん

東京都足立区・38歳・'97年6月購入

マジエステイを選んだ理由？
やっぱりデザインがメインですね。

他社の新製品も見ましたよ。新しく出るといって池袋のデパートで展示されていたんです。でも、個人的にはあまり好きなデザインじゃなかったんで、マジエステイと比べるようなことはありませんでした。

私は以前、リッタークラスのスポーツバイクに乗っていたんですが、近頃は乗る機会が少なくなってきたんです。それに、たまに乗るとすごく疲れるので、疲れないで乗れるバイクが欲しいなど。

使い道はほとんどツーリング

休みの日で天気がいいときには、いつも日帰りで出かけています。たいていが高速道路に乗って、ワインディングを走りに行くコース。300kmくらいかな。前の大型バイクよりも全然楽チンで

す。思わず居眠り運転しそうになるくらいにね。高速道路でもよく走るし、信号の発進加速もいい。コーナーリングも前のバイクより速いんじゃないかな。ワインディングを走っていても結構速いですよ。

燃費もいいし、収納が多いのも便利。ツーリングには必ずカメラを持っていくんですけれど十分しまえる。それに、暑くなったら、上着でもなんでも無造作にポンポン入れられるでしょ。



杉田賢治さん

大阪府吹田市・37歳・'97年6月購入

だいぶ前に用事でバイク屋に寄ったとき、たまたまマジエステイを見かけたんです。そのときに見たスタイリングが強く印象に残ったんです。

マジエステイの前は100ccのスクーターに乗ってましたが、古くなってきたし、やっぱり物足りなかったんですね。私にとって、バイクはあくまでもツーリングの手段。昔はセローに乗って、林道とかを走っていたんです。250のスクーターなら、セローよりも楽にツーリングが

できるかなと思っただけです。

他の250のスクーターとも比べてみたんですが、細かい性能うんぬんよりも、やっぱりルックスがいいマジエステイに決めました。

ただ、マジエステイに乗る前はハンドレバーでリアブレーキをかけるのが、原付みたいでちょっと不安だったんです。このクラスのスクーターはフットブレーキが多いし、でも、使ってみるとハンドレバーの方が扱いやすいですね。

休日はテニスにも行くんですが、ラケットはトランクじゃなく後ろのシートにネット止めて走っています。それで別に不都合はないですよ。むしろ、マジエステイはハンドル下や足元にあるボックスの使い勝手がいいから、重宝しています。

肥後橋清一さん

宮崎県宮崎市・59歳・'97年3月購入

私のマジエステイは、今2台目なんです。1台目は去年の8月に買いました。21馬力というパワーに魅かれてね。

高校生のころからバイクに乗っていて、今もリッターオーバー車と小型車、それに家内用のピラーゴを持っていますが、90ccのスクーターを買ひ替える時、どうせならパワーがある250がいいかなと思っただけでマジエステイにしたんです。最初、友人が他社のスクーターを持ってたので乗せてもらってたんですが、スピード感が物足りなくて……。

2台目を買ったのは、その後8か月くらいたってから。新しくサスペンションの調節機構がついたので、買い替えることにしたんです。ちょうどその頃、他社の新型が出るというので気にはなりましたが、

マジエステイより重量が重かったのがやめました。

私のは自分で多少手を加えてますが、それを割り引いても、断然マジエステイのほうが走りは軽快ですよ。使い道は、もっぱら通勤とツーリング。長距離を走るのでも外付けのリアボックスと、家内を後に乗せることも考えて、バックレストを付けています。こういう、いろんなオプションパーツが揃っているからありがたいですね。今度、家内と北海道へ行くこうして計画して行きますよ。



他業界からのヒントに注目!

Open Eye's

Vol.7

次世代の自動車販売を先取る 柔軟な発想



800坪の敷地には、芝生が植え込まれた屋外展示場と、コテージ風のクラブハウスがあり、自然と環境に配慮した展示や商品構成になっている。弊社統一看板がないので、トヨタ車以外のユーザーも入りやすい。「中古車屋さんや駐車場に見えないような」配慮から、展示車両はランダムに並べられている

「クルマの新しい販売方法を模索しています」と鈴木店長。「クルマを購入した後の楽しさも提供していきたいですね」



**東京トヨペット(株)
アールベックス小平**
鈴木 智英店長 東京都小平市

「RVex小平」は、平成8年12月20日に東京トヨペット(株)小平営業所の敷地内にオープンしたパイロットショップ。新青梅街道と小金井街道の交差点に位置する。展示車両は、MPV(マルチパーパスビークル)と呼ばれる中型多目的車が中心だが、東京トヨペットの取扱車種は全車扱う。鈴木智英店長は35歳。「RVex小平」発足時の社内公募に応募し、現職に就いた。店長という重責に「13年間ずっと営業をしてきましたが、営業の方が楽しかったと思う場面もあります」と苦笑い。

■来世紀に向けてのカーディーラーのあり方を模索するパイロットショップとして位置づけられ、これまでの常識を打破すべく、実験的な試みを実行している「RVex小平」。明確なターゲットとして「40代〜20代、小学生以下の子供がいるファミリー」を設定、その世代のニーズを調査して店舗作りを直接反映させている。

訪問販売から 来店集客型へ

当店の特徴としてまず最初に挙げられるのが、来店集客型の店作りでしょう。さまざまな調査の結果、訪問販売は40代以下の世代には否定的に捉えられていることが分かりました。クルマを買うおうという気がある時にはまだいいのですが、そうでないと疎ましいだけ。訪問販売は言わば自動車販売業界の常識的な色合いが濃かったのですが、それが若い世代に受け入れられなくなってきたのです。

販売する側としても、お子さんにお金のかかる

時期ということもあるのでしょうか、共働きされていく日中となたもいらつしやらないご家庭が多く、効率が悪いということもあります。

そういった背景から、来店集客型の店作りを試みているわけですが、まずはお客さまにとって魅力ある店舗でなければなりません。これまでのカーディーラーというのは、店舗というのは契約をする場所、ぐらいの意識しかないところが多かった。しかし、当店では何度でも足を運んでいただきたい。そのため何ができるか、という視点で店作りをしているんです。

来店促進を考える中で心がけているのが、ソフトなアプローチという点です。いざ来ていただいても、すぐに「今乗っているお車の査定をしましょうか」「見積もりを出しましょうか」というような「売らんかな」的な強引なスタンスはとりません。セールスマンがお客さまの横に付くこともありません。お客さまには自由に展示車両を「ご覧頂きたい。今日買って帰らなくても、ま



2階のショップではアウトドアグッズや「ザ・ナショナル・トラスト」の雑誌を展示・販売。「これで利益を」というよりは、イメージ作りの一環と言う方が、なかなか本格的だ。リフトにまでこだわった紅茶やケーキが楽しめる喫茶コーナーも。1階にはマルチメディアコーナーがあり、インターネットやゲームで遊べる



来てくだされば、それでいいんです。

また、店舗2階には喫茶コーナー、アウトドアグッズ販売コーナー、「ザ・ナショナル・トラスト」雑誌販売コーナーを設け、お客さまにくつろぎの一時を過ごしていただけるようにしております。ここには整備待ちのお客さまはもちろん、ただお茶を飲むだけでも気軽に立ち寄りいただいています。

また、このスペースを生かして、5月には宇崎童さんのミニコンサートを開きましたし、ヤマハさんと提携して4級船舶免許講習会を開催する計画もあります。当店では、商談も一切行っておりません。商談は、隣接する東京トヨベツ小平営業所の方で行っています。これもソフトなイメージ作りのための一環なんです。単にクルマを売る「スペースから一歩先を行き」、お客さまに楽しんでいただく「スペース作り」を、キーワードにしています。

来店機会を増やすために 業界の常識を打ち破る

展示車両はナンバーを取得していますので、すべて試乗していただくことが可能です。今日は月1回の試乗会ですから、12車系21台の試乗車を用意しています。ふだんでも7車系16台にはお乗り頂ける。

試乗がどれくらい成約に結びつくか、というデータは、実はまだ揃っていません。でも、多くの方が試乗車がなく、実車に乗らないまま、場合によっては見ないまま成約する、いわゆるカタログ販売に慣れていたように思います。売る側としても、それが半ば常識だから、そういう常識を打破する目的の「RVex x小平」です。試乗車は常になるべく多く用意しています。今でもクラウンなど高級車のお客さまの中には、「カタログの一番最初のページに載っているのをくれ」という方もいらっしゃいます。でも、若い世代に移行するにつれて、自分の目で見てみたい、乗ってみたいという

欲求は強くなっているようです。

正直なところ、こちら側としては試乗車を用意するのは大変なんです。ナンバーを取るためには登録しなければならぬわけですから、経費もかかれば手間もかかる。しかしそれ以上に、「常に試乗できるディーラー」というイメージを作り、来店機会を増やすことが重要だと考えています。

また、ディーラーとしては非常に珍しいケースですが、販売会社共通の統一看板を出していません。これには意図があって、他メーカー車に乗っている人でも入りやすいということがあります。今までのように統一看板を出していると、同メーカーで他の販売会社で購入されたお客さまの割合が非常に高くなってしまふ。それでも最近は他メーカー車に乗って来店されるお客さまも増えているようですが、看板が数居の高さになつていたことは間違いありません。

ウチでは会員制を採用していますが、約2500人の会員のうち、約4割が他社メーカーのクルマに乗っている方なんです。これだけ見ても統一看板を出さないことの効果が伺える。

看板を出さないことにはもうひとつの効果があります。カーディーラー然としていないので、何屋さんなのか、と興味を持ってもらえる。もちろんいつまでも何屋さんか分からないようでは困りますが、何か新しいことをやっているお店だな、という印象を持ってもらえれば、と思っています。



会員制の一番のメリットはやはりリピート率を上げること。また、来店し、会員にまでなる人はクルマへの関心も高いので、高効率なDM送付が可能に。申込用紙から正確な住所を得られるという点でも効果的だ。会員にはポイントカードが発行され、各種割引サービスが受けられる他、月1回の情報誌も送付される

時代の要請に応じて カスタムにも力を入れる

展示車両をよく見ていただくと分かるんですが、まったくノーマル状態のクルマはほとんどありません。ホイールが変えてあったり、エアロパーツが付いていた、足回りやブレーキ、マフラーなどを変えているものもあります。

特にトヨタ系のオプションパーツでなくても、ほとんどすべてのアフターマーケットのパーツを取り寄せて、装着することができます。パーツ購入と取付に関しては、トヨタ車以外のお客さまでも受け付けています。例えば、日産車にお乗りの方が「RVex x小平」にいらしてマフラーを注文し、交換することも可能なんです。もちろん車検に適合することが絶対条件ですが、メーカー系列ディーラーとしてはかなり自由度が高いと思います。メーカーにも評価していただいておりますし、メーカーのトヨタ自動車自体もオリジナルのカスタマイズ車両を展示・販売する「モデリスタ インターナショナル」を設立しました。

クルマに単なる移動手段以上のものを求めている若いファミリーをターゲットとした場合に、ディーラーからの提案として模索すべき方向と考えています。将来的にはカー用品店からお客さまを取り戻す可能性もあるのではと思っています。

今までのカーディーラーのイメージを払拭したコテージ風の店舗。1階は「クラブハウス」としてカーライフ情報の発信や用品を展示・販売し、2階はカフェ&ショップとなっている。空中通路を使えば、1階を通らずに2階に上がることもできるので、喫茶だけの客も気軽に立ち寄れる



98 YZシリーズ、さらなる進化をアピール！ 体験試乗会も好評開催中!!

ヤマハ伝統のモトクロックサーイZ250/YZ125の98モデルがデビュー。そのプレス試乗会が6月24日、静岡県浜北トリーランドで行なわれました。オフロード専門誌のテストライダーからは、前年モデルからの性能向上を評価する声が多く、「トルクの出方がフラットで、乗りやすい」「フロントサスの沈み込みがスムーズ」「どこに座ればいいかきちんとわかるシート

だ」といった意見が聞かれました。また、ヤマハのモータースポーツ活動への取り組み方を評価する声も多かったようです。この詳しい模様は現在発売中の各オフロード専門誌に掲載中です。さらに、一般ユーザーを対象にしたYZシリーズの体験試乗会も全国各地で開催中。モトクロスに興味はあるもの、なかなか乗る機会が得られないお客様にぜひお勧めください。試乗会に関するお問い合わせは、各ヤマハ販売会社普及担当、またはRSSまでお願いします。

●YZシリーズ体験試乗会

- <関西>8月9-10日 奈良県/名阪スポーツランド
- <関東>8月16-17日 千葉県/茂原スポーツランド
- <四国>8月24日 徳島県/美馬スポーツランド
- <九州>8月10日 沖縄県/押川ファミリーモトクロスランド

98 T2Z試乗会でプレスの好評価続出！ 予約された方にはセットアップスクールにご招待!!

世界各地のサーキットで活躍しているヤマハロードレーサー「T250」「T2125」。その98年モデルのプレス試乗会が、7月7日スポーツランドSUGOで開催。98年モデルはT2500にYZR250と同様の空力効果の高いシートカウルを採用したほか、エンジン、サスペンションともに着実な進化を見せています。

「コーナーでの倒し込みがよく曲がる」「11000回転以上で強力なトルクがある」「乗って楽しいマシン。熟成が進めば、かなりの競争力がある」と、試乗したテストライダーからの評価も高いものでした。詳しくは現在発売中の専門誌をご覧ください。また、9月1日から10月20日までの期間中に、T2Zシリーズを予約された方にはもれなく98年度の「T2Zセットアップスクール」にご招待。これはヤマハ契約ライダーからマシンのセットアップとライディングについての講義が受けられるもので、ロードレースに参加するライダーが基礎知識を学ぶための絶好のスクールです。開催は98年のレースシーズン前、会場はSUGO、T1サーキットになります。ロードレースに関心のあるお客様には是非ご案内ください。



全日本GP125ランキングトップの秋田貴志選手も試乗。基本性能の高さに好感触を得ていた

BOOKS GUIDE

気がつけば風が吹いている

バイクに野営道具を積み込み、日本各地の秘境を右往左往する抱腹絶倒の探検記。これは以前、月刊アウトライダーに連載されていた人気企画「へなちよ探検隊」シリーズをまとめたもので、知床峠縦断、青木ヶ原樹海潜入など、愉快で無謀でへなちよの旅の数々が綴られています。
●菅生雅文・著 ●ミリオン出版・刊
●¥1,365 (税込)



'97 ヤマハ整備士コンテスト 地区大会 出場店

参加プレミアム横断幕でショップの技術力をアピール

今年も全国各地でスタートしたヤマハ整備士コンテスト。お互いの腕を競い合うことにより、自分の店に在るだけではない改善すべき点や、どうすればよいサービスができるかということが見えてくると過去の出場者からも評判です。また、昨年まで全国大会に出場した全店には、副賞としてプレミアムのパナーと垂れ幕をさしあげていました。この副賞は、お客様に対してお店の技術力のアピールができる大好評をいただいています。そこで、今年からは地区大会にも全国大会同様お店のための

ヤマハ整備士コンテストに挑戦して ショップの技術力を お客さまにアピール!!

FROM SERVICE

■YIS講習会日程

ブロック	8月	8月
北海道		
東北		
東京		
中部		B
神戸		M 10~12
中国		M 17~19
四国		
九州		B

支援ツールとして「地区大会出場店」の横断幕縦60cm×横180cmを作成し、参加店すべてに進呈いたします。自店のサービスに対する姿勢をお客さまにアピールするためのツールとして、どうぞご活用ください。なお、地区大会の開催日等の問い合わせは、地区担当サービスまでお願いします。



全日本第5戦、北海道でいち早くデビューした98YZ250、田島久のライディングで2位表彰台を獲得し、そのポテンシャルを見せつけた

らくらく低金利でサポート!! 「夏のスポーツキャンペーン」

FROM SALES

この夏、ヤマハは「夏のスポーツキャンペーン」を展開。スポーツバイク販売をサポートします。今キャンペーンでは、のぼり、ポスターなどの店頭ツールでローンカラーのYZ400を始めとするスポーツバイクの話題性を高め、5.9%の低金利を設定して、お求めやすさをお客さまにアピール。



らくらくクレジットを利用されたお客さまには実質年率5.9%の金利を適用するものです。この夏、新たにスポーツバイク購入を考えられているお客さまに、耳よりな情報としてぜひお知らせください。

『YSP小平』さんの主催で行なわれました。当日は台風一過の絶好のツーリング日和となり、参加者も女性10名あまりを含む60名以上を数えました。

箱根の緑を背景に気持ちよくツーリング



平さんとタンデムできたラッキーな人も

ビッグバイクやニューモデルで参加されるお客様も多かったこの日。平さんを迎えて、お互いのバイクについて質問しあったり、各部をのぞき込んだりする光景があちこちで見られました。平さんもサインの求めに応じたり、女性ファンとタンデム走行をしたりとファンとの交流を楽しんでおり、和気あいあいとした1日となりました。

LOCAL TOPIC

6月8日(日)、北海道で開催された「YESSSサーキットラン in十勝」には、道内各地から多くの参加者が集まりました。会場となった十勝インターナショナルスピードウェイは道内最大規模のサーキットで、二輪・四輪のレース、走行会などが行なわれています。この日は前日まで



水冷インラインフォーのパワーをサーキットで体感!

満喫していたようでした。また、来場者自身の愛車でのサーキットランも同時開催。ビッグバイクで走行する参加者が多く、免許制度改正以降の、大型三輪車人気も強く感じられました。YESSSステーションのステージでは、YESSSクルーを交えた

の雨も止み、すっかり晴れ渡った快晴の空のもとでのイベントになりました。会場では、ニューモデル試乗会を開催。ズラリと用意されたFZ400が来場者の視線を集めていました。このFZ400でのサーキット走行は、幅が広くストレートが長いコースを使って、多くの人が普段公道では味わえないスポーツツーリングの楽しさを



人気ライダーのトークに参加者も注目

『平忠彦さんと行く箱根ツーリング』

ゲストに元GPライダーとしてお馴染みの平忠彦さんを迎えた箱根ツーリングが6月29日、『YSP小平』さんの主催で行なわれました。

LOCAL TOPIC



イベントが終わったら仲良くゴミ拾い

ツーリングやライディングスクールなどのバイクのイベントで、そのあとのゴミの始末をすっかり忘れてしまったことはないでしょうか。そこで今、日本二輪車協会(NMCA)では、バイクのイベントに参加するライダーに、自然環境を守る意識を持って「自分達が出したゴミは責任を持って処理すること」を呼びかける「ライダーズクリーンアップキャンペーン」を展開しています。このキャンペーンはイベント開催によるゴミの散乱をなくし、環境を守る

活動の輪を広げていこうとするものです。二輪イベントを催す主催者に呼びかけ、ご賛同いただいた方に「ライダーズクリーンアップキャンペーンセット」(会場用分別ゴミ収集袋と個人用ゴミ袋)を事務局から送付。参加ライダー各自のゴミは、配付された個人用ゴミ袋にまとめ、それを会場用ゴミ袋に回収し、可燃物・ビン・カン・その他のシールを貼り付けて分別します。ライダーズクリーンアップキャンペーン事務局では、シヨップ

YESSSツーリングも協力してます!! 『ライダーズクリーンアップキャンペーン』

FROM NMCA

を始めとするイベント主催者に無料(送料別)でこのキットをお分けしています。利用をお考えの方は、下記の問い合わせ先に連絡して、FAX発注書を入力、必要事項を記入して再送してください。6月15日に行なわれたYESSSツーリングin川上郷(主催:東京YESSS SHOP)でも、この主旨に基づきゴミを回収。80名以上が参加したこのツーリングでは、ニューモデル試乗会や林道ツーリングなどを楽しんだあとにはきちんとゴミを

<問い合わせ>
「ライダーズクリーンアップキャンペーン事務局」
(株)コスモ・コミュニケーションズ
担当: 海内高弘
TEL: 03-3405-8836
FAX: 03-3405-9730

拾い、自然に優しいイベントになりました。「普段何げなくバイクで走っている林道も、ゴミ袋を持って歩くと意外とゴミって落ちてることに気がついた」と環境保護の大切さに改めて気づいた参加者も多かったようです。

Y.E.S.S. ツーリングでは、オフライも好評。



北海道の青空のもとで、みんな大歓び!! 『YESSSサーキットランin十勝』

抽選会や、藤原儀彦、本間利彦、茨木繁の各ライダーによるトークショーなど、内容盛り沢山のイベントで、充実した一日となりました。また、同時にロードレーサーのための、TZ125のレーシングスクールも行なわれ、コース攻略法やマシンのセッティングなど、各ライダーに細かくアドバイスされ、こちらも好評でした。

今季初のヤマハ1-2を達成した真矢と健輔。表彰台でお互いの健闘を称え合う

LOCAL TOPIC

元ヤマハファクトリーライダーがテクニックを直伝!! 『97ファーストステップモトクロススクール』

6月15日、「YSP尾張小牧」さん主催によるファーストステップモトクロススクールが静岡県天竜川河川敷コースにて開催されました。

梅雨の最中にも関わらず好天に恵まれた当日は、女性2名を含む20名が参加。特別講師の元



藤、川崎両ライダーの熱のこもった指導に参加者も集中

ヤマハファクトリーライダー藤秀信さん、川崎智之さん両インストラクター指導のもと、楽しくハードな1日を過ごしました。ウォームアップ走行から始まったスクールは、グループ別に2人のインストラクターが、ポジションの確認、スタート・ブレーキング・コーナリング・ジャンプの各カリキュラム項目を基礎からレクチャー。参加者からは「自分の欠点が初めてわかった」「モトクロスライディングの上達の秘訣は基礎をしっかり理解することだった」と大好評でした。

また、当日は発表されたばかりの98モデルのYZシリアルズもコースに展示されスクール参加者ももちろん、一般走行にきていたモトクロスユーザーからも大きな注目を集めていました。

RACING TOPIC

中野真矢、歓喜の全日本初優勝!! 紀行は早くも4勝目をゲット!!

SUGOで行なわれた全日本ロードレース第6戦。ヤマハの中野真矢がGP250、芳賀紀行がスーパーバイククラスを制しました。

午前中までの雨が上がったもののウェットコンディションでスタートした250の決勝。今季2度目のポールを獲得した中野はホールシヨットを決め、その後

チームの先輩、芳賀健輔(ヤマハ)、亀谷長純(スズキ)らが続きます。しかし、濡れた路面に足を取られた中野は健輔、亀谷につぐ3番手への後退を余儀なくされますが、レースは9周途中、霧のために中断。結局、2ヒートの合計タイムで争われることになりました。ドライに回復した12週の第2

WORLD TOPIC

PWにまたがったキッズが大活躍!! トルコ、フィリピンでモーターサイクルイベント開催

トルコでヤマハディーラー主催によるPW50/80の展示会が開催。同国でキッズバイクが輸入発売されるのはヤマハのPWが初めてとあって、大きな注目を集めていました。会場では、トルコのモトクロスチャンピオンによるライディングスクールも行なわれ、PWにまたがった子供たちは目新しい乗り物を大いに楽しんでいました。

またフィリピンでは、ヤマハディーラーの35周年を記念した「ヤマハ エンヂューロカップレース」がマニラ市内で開催されました。当日は、同国の映画スターたちが出場するモトクロスレースやPW50によるキッズレースなどが行われ、総勢1万人以上の観客を集めたビッグイベントとなりました。



初めて乗るPWに興奮気味のトルコの子供たち

MARINE TOPICS

身近な水とのふれあいを描こう!! 『浜の風景画』コンテスト作品募集中

子どもたちに、身近な水とのふれあいや遊びを描くことにより、海に対する関心をより深めるために実施している「浜の風景画コンテスト」。これは子供たちが、これから海とどう接していかなければならないのかを考え、環境保護や海を見つめ直す大切な機会を提供することを目的とし、今年で第9回を迎えます。

今年から(財)日本マリンスポーツ普及教育振興財団の主催となり、さらに広く作品募集の呼びかけを展開しています。これまで、全国各地の児童、幼児から多数応募いただいております。昨年は1昨年を2000以上回る7460作品が寄せられました。みなさんの周りのお子さまたちにも是非お勧めください。

第9回ヤマハ全国児童「浜の風景画コンテスト」

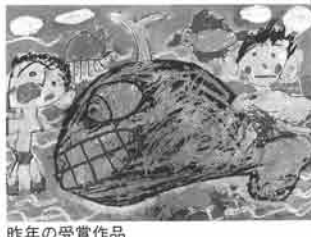
主催：(財)日本マリンスポーツ普及教育振興財団
特別協賛：ヤマハ発動機株式会社
テーマ：「身近な水とのふれあい」

(浜辺や海および水辺での風景)
応募資格：小学校6年生以下の児童・幼児
応募期間：10月31日まで
応募方法：応募作品の裏に作品名、住所、電話番号、本人氏名、性別、年齢、学年、学校名、保護者氏名を記入の上、応募先まで郵便または宅配便にて送付

応募先：〒435静岡浜松市篠ヶ瀬町810
ヤマハ全国児童「浜の風景画コンテスト」係
応募規則：応募用紙は四ツ切サイズ(54.6mm×39.0mm)の画用紙、もしくは同サイズの用紙を使用。

審査部門：小学校高学年(4~6年生)、小学校低学年(1~3年生)、幼児(小学生未満)の3部門により審査。
賞典：各部門に、金賞2名、フィッシャリーナ協会長賞1名、ヤマハ発動機賞、銀賞4名、銅賞6名、佳作10名とし、盾および副賞を贈呈。
応募者全員に、金賞作品を記載したオリジナルスケッチブックを記念品として贈ります。

入選発表：入賞者本人に連絡。同時に(財)日本マリンスポーツ普及教育財団発行のリリースおよびヤマハ発動機発行のマリン関連雑誌にて発表予定。



昨年の受賞作品 幼児の部・金賞・藤本翔太ちゃん



将来の世界チャンピオンはフィリピンから生まれる!?

TOOL BOX

★車とバイクのグッズが勢ぞろいするフリーマーケットスタイルのイベント「東京オートジャングル'97」が、東京都大田区の東京流通センターで8月16~17日に開催されます。なかなかお目にかかれない掘り出しものが見つかるまたないチャンス、是非お客さまと一緒に足を運んでみてはいかがでしょう。
<問>03-3767-2190

★6月20日付の二輪車新聞によると、今年の1~4月の自動二輪の新車登録数が、大型二輪が前年に比べ4割増。免許改正によるビッグバイク人気を物語っています。一方中型二輪は前年比2割以上減っており、97年の免許取得者数も大型二輪は倍増、普通二輪は2割減になると予想されています。

★6月24日、都内のホテルで「98バリ・ダカールラリー」の発表会が行なわれました。席上、主催団体TSO代表のユベール・オリオール氏自ら、来年

は再びバリからスタートすることを発表。よりアマチュアリズムに徹した冒険ラリーを目指します。会場には山村雅康さん、柏秀樹さんらバリタカでお馴染みの人も顔を揃えていました。



「ヤマハニュース」情報募集のお知らせ

ヤマハニュースでは、お店からのホットな情報を募集しています。ユニークなイベントや店頭活動、お店独自のパソコンの使い方などどんな話題でも結構です。もちろんお宝も継続募集中。ヤマハにまつわる古いアイテムを見つけたら、どしどし下記までFAXをお寄せください。

ヤマハニュース編集室
FAX 03-5474-7898





ランキンクレーター。エミグを射撃距離にとらえたダウド



予選でマシンを詰めきれなかった紀行だったが、決勝は「賭けに出たセッティングが結果的によかった」と快勝。前半戦を終えチャンピオンの最有力候補



ヒートでは、ヤマハの2人が好スタート。2台のYZRは順位を入れ替えながら後続を引き離しますが、中盤以降は中野が先行。徐々にリード

ダウドとラスクが快進撃! AMAナショナルで勝利街道爆進中!!

AMAナショナルでヤマハ勢が大活躍。ジョン・ダウドとエズラ・ラスクが表彰台を分け合う活躍を見せています。

第5戦パズクリーク第1ヒートでは、ラスクがホールシヨットを奪ったマクグラス(スズキ)をバトルの末に抜き去り、見事ナショナル250での初優勝を達成。第

を広げながらチエツカーまでトップを守り続けた中野は、タイム差でも健輔を逆転し、見事全日本初優勝を飾りました。

「全日本は250でも勝つたことがなかったの、すごく嬉しい。河崎(裕之)監督を始め、たくさんの人に感謝したい」と中野。2位に入った健輔も「自分が開発したバイクで、中野選手が勝ってくれてうれしい」と後輩の活躍を喜んでいました。

スーパーバイクでは、予選2位の紀行が、スタート後の1コーナーで前を行く2台を強引にパス。まもなく武田雄一(ホンダ)が2番手にあがるものの、追撃する隙を与えず今シーズン4勝目を達成しました。

2ヒートでも2位に入りました。豪雨と強風に見舞われた第6戦サウスウィックの第1ヒート、今度はダウドが圧倒的な速さを見せ優勝、ラスクも2位に入りました。天候が回復した第2ヒートでも、ダウドの勢いはとどまることをしらず、後続に圧倒的な差をつけて連勝を飾りました。

続く第7戦ブキャナン。第1ヒートはエミグ(カワサキ)につぐ2位に甘んじたダウドでしたが、第2ヒートではホールシヨットを奪った僚友ラスクを2周目に交わして3勝目。ラスクも2位に入り、今季2度目の1-2ラインシユを飾りました。

シリーズランキングでもダウド2位、ラスク4位に浮上。後半戦でのポイント逆転、タイトル獲得に大きな期待がかかります。

RESULT

世界選手権ロードレースGP500

第7戦・オランダ(6/28)

- 1位 ドゥーハン(ホンダ)
- 2位 チェカ(ホンダ)
- 3位 ロンボニ(アブリリア)
- 10位 阿部典史(ヤマハ)
- 14位 コーサー(ヤマハ)
- 19位 ジベルノ(ヤマハ)

第8戦・イモラ(7/6)

- 1位 ドゥーハン(ホンダ)
- 2位 青木宣篤(ホンダ)
- 3位 青木拓真(ホンダ)
- 6位 カダローラ(ヤマハ)
- 7位 阿部典史(ヤマハ)
- 11位 ジベルノ(ヤマハ)

RANKING (第8戦終了時)

- 1位 ドゥーハン(ホンダ) 195
- 2位 クリベレ(ホンダ) 102
- 3位 青木宣篤(ホンダ) 100
- 6位 カダローラ(ヤマハ) 69
- 7位 阿部典史(ヤマハ) 66
- 13位 ジベルノ(ヤマハ) 26
- 18位 コーサー(ヤマハ) 11

ワールドスーパーバイク

第5戦・イタリア(6/22)

- <第1ヒート>
- 1位 コシンスキー(ホンダ)
- 2位 スライト(ホンダ)
- 3位 フォガティ(ドゥカティ)
- 5位 ラッセル(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 キリ(ドゥカティ)
- 2位 コシンスキー(ホンダ)
- 3位 ウェットナム(スズキ)
- 8位 ラッセル(ヤマハ)

RANKING (第5戦終了時)

- 1位 フォガティ(ドゥカティ) 148
- 2位 スライト(ホンダ) 124
- 3位 コシンスキー(ホンダ) 118
- 5位 エドワーズ(ヤマハ) 79
- 6位 ラッセル(ヤマハ) 77

500cc世界選手権モトクロス

第7戦・スウェーデン(6/29)

- <第1ヒート>
- 1位 スメッツ(フサベル)
- 2位 S.キング(KTM)
- 3位 ヨハンソン(ヤマハ)
- 9位 バルトリーニ(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 スメッツ(フサベル)
- 2位 S.キング(KTM)
- 3位 バルトリーニ(ヤマハ)

5位 ヨハンソン(ヤマハ)

第8戦・イギリス(7/6)

- <第1ヒート>
- 1位 マルデンス(ハスクバーナ)
- 2位 スメッツ(フサベル)
- 3位 D.キング(ハスクバーナ)
- 4位 ヨハンソン(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 スメッツ(フサベル)
- 2位 D.キング(ハスクバーナ)
- 3位 ニコル(KTM)
- 5位 バルトリーニ(ヤマハ)

RANKING (第8戦終了時)

- 1位 スメッツ(フサベル) 202
- 2位 S.キング(KTM) 151
- 3位 ニコル(KTM) 147
- 5位 ヨハンソン(ヤマハ) 128
- 6位 バルトリーニ(ヤマハ) 125

250cc世界選手権モトクロス

第9戦・ベルギー(6/22)

- <第1ヒート>
- 1位 エバーツ(ホンダ)
- 2位 ヘルプーツ(スズキ)
- 3位 バイレー(ホンダ)
- 8位 ブラウン(ヤマハ)
- 13位 ボーランド(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 エバーツ(ホンダ)
- 2位 ヘルプーツ(スズキ)
- 3位 バイレー(ホンダ)
- 5位 ブラウン(ヤマハ)
- 9位 ボーランド(ヤマハ)

第10戦・ブラジル(7/6)

- <第1ヒート>
- 1位 エバーツ(ホンダ)
- 2位 トーテリ(カワサキ)
- 3位 ボーランド(ヤマハ)
- 8位 ブラウン(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 エバーツ(ホンダ)
- 2位 ヘルプーツ(スズキ)
- 3位 バイレー(ホンダ)
- 10位 ブラウン(ヤマハ)
- 13位 ボーランド(ヤマハ)

RANKING (第10戦終了時)

- 1位 エバーツ(ホンダ) 355
- 2位 トーテリ(カワサキ) 269
- 2位 ヘルプーツ(スズキ) 269
- 10位 ボーランド(ヤマハ) 123
- 11位 ブラウン(ヤマハ) 105

AMAナショナル

第5戦・パズクリーク(6/15)

- <第1ヒート>
- 1位 ラスク(ヤマハ)
- 2位 ラロッコ(スズキ)

RACE CALENDAR

月	日	世界選手権						全日本選手権				AMA選手権	
		F1	GP	ED	SB	125MX	250MX	500MX	RR	MX	TR	SX	ナショナル
3			①ブラジル		②イギリス		③インドネシア	④ベルギー				⑤北海道	⑥ミルビ
10		⑦ハンガリー			⑧スロバキア		⑨ルクセンブルク	⑩MINE				⑪ワシントン	
17		⑫イギリス		⑬オーストリア	⑭ベルギー		⑮ポーランド						
24		⑯ベルギー					⑰ドイツ					⑱ペンタゴン	
31		⑳チェコ		㉑オランダ	㉒オランダ	㉓スイス						㉔デルモント	
7		㉕イタリア				㉖ドイツ		㉗鈴鹿	㉘SUGO				
14		㉙カタール											
21		㉚オーストリア		㉛ポルトガル	㉜スペイン			㉝筑波	㉞四国				
28		㉟ルクセンブルク		㊱インドネシア									

Check Point

早くも折り返し点を過ぎた97モータースポーツシーズン。後半戦に向けてヤマハラライダーの活躍がますます期待されます。特に、これまで苦しいシーズンが続いているノリックに奮起を期待したいところ。途中、96年YZRにスイッチしたり、盲腸の治療を受けたりと苦勞した場面もありました。しかし、8月には昨年表彰台に登ったドニントンとリオのレースが控えています。ヤマハのエース復活を期待したいところです。

<250>

- 1位 加藤大治郎(ホンダ)
- 2位 中野真矢(ヤマハ)
- 3位 芳賀健輔(ヤマハ)

第6戦・SUGO(7/6)

- <スーパーバイク>
- 1位 芳賀紀行(ヤマハ)
- 2位 武田雄一(ホンダ)
- 3位 武石伸也(スズキ)
- 4位 吉川和多留(ヤマハ)

<250>

- 1位 中野真矢(ヤマハ)
- 2位 芳賀健輔(ヤマハ)
- 3位 加藤大治郎(ホンダ)

RANKING (第6戦終了時)

- <スーパーバイク>
- 1位 芳賀紀行(ヤマハ) 114
- 2位 武田雄一(ホンダ) 108
- 3位 藤原克昭(スズキ) 75
- 4位 吉川和多留(ヤマハ) 58

<250>

- 1位 加藤大治郎(ホンダ) 95
- 2位 加賀山就臣(スズキ) 82
- 3位 中野真矢(ヤマハ) 80
- 4位 芳賀健輔(ヤマハ) 75

全日本モトクロス250cc

- 第5戦・北海道(7/6)
- <第1ヒート>

- 3位 マクグラス(スズキ)
- 11位 ダウド(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 エミグ(カワサキ)
- 2位 ラスク(ヤマハ)
- 3位 ダウド(ヤマハ)

第6戦・サウスウィック(6/22)

- <第1ヒート>
- 1位 ダウド(ヤマハ)
- 2位 ラスク(ヤマハ)
- 3位 ヒューズ(カワサキ)

<第2ヒート>

- 1位 ダウド(ヤマハ)
- 2位 エミグ(カワサキ)
- 3位 ワード(ホンダ)
- 12位 ラスク(ヤマハ)

第7戦・ブキャナン(7/6)

- <第1ヒート>
- 1位 エミグ(カワサキ)
- 2位 ダウド(ヤマハ)
- 3位 マクグラス(スズキ)
- 6位 ラスク(ヤマハ)

<第2ヒート>

- 1位 ダウド(ヤマハ)
- 2位 ラスク(ヤマハ)
- 3位 ラロッコ(スズキ)

RANKING (第7戦終了時)

- 1位 エミグ(カワサキ) 297
- 2位 ダウド(ヤマハ) 259
- 3位 マクグラス(スズキ) 247
- 4位 ラスク(ヤマハ) 204

全日本ロードレース

- 第5戦・富士(6/22)
- <スーパーバイク>
- 1位 武田雄一(ホンダ)
- 2位 芳賀紀行(ヤマハ)
- 3位 藤原克昭(スズキ)
- 6位 吉川和多留(ヤマハ)

夏休み

★うおーっ！ もうちょっとだーっ!!
 ☆わっ、ビックリするじゃない。何を吠えているのよ？

★だって、もうすぐ夏休みじゃないか！
 これが吠えずにいられるかつての。何ならキミも一緒に吠えないか!?

☆そんな爽やかな目で誘われたって、吠えないわよ……フッ！

★そっかなあ。ボクはもつと吠えたい気持ちで一杯だよ。

☆ね、今年はどうやって過ごすの？ 夏休み。去年みたいな悲惨な過ごし方、しないでしょっかね？

★夏休み初日にプール行って、はしゃぎすぎて滑り台でケツ打って、以後動けなかったからなあ。まあボクも人間として、二の轍は踏まないよ。……たぶん踏まないと思うよ。分かんないけど。

☆何か予定は立ててるの？

★もちろん！ まずは2泊3日のツーリング。避暑を兼ねて高原に行くかと思ってるんだ。もうルートも、タイムスケジュールも決まってるんだ。

☆ってことは、ひとりじゃないってことだ。
 ★す、鋭いねキミはどうも。なんで分かっちゃったのかなあ。

☆あなたがそんな用意周到なはずじゃない。ホントに読みやすい人なんだから。

★行き付けのバイクショップのツーリングに参加するんだよ。緑あふれる草原を渡ってくる爽やかな高原の風、美しく咲き乱れる花々、そしてブルーベリージャムの香り……。

☆ブルーベリージャム？ 何だそれ。ところでツーリングの他には？

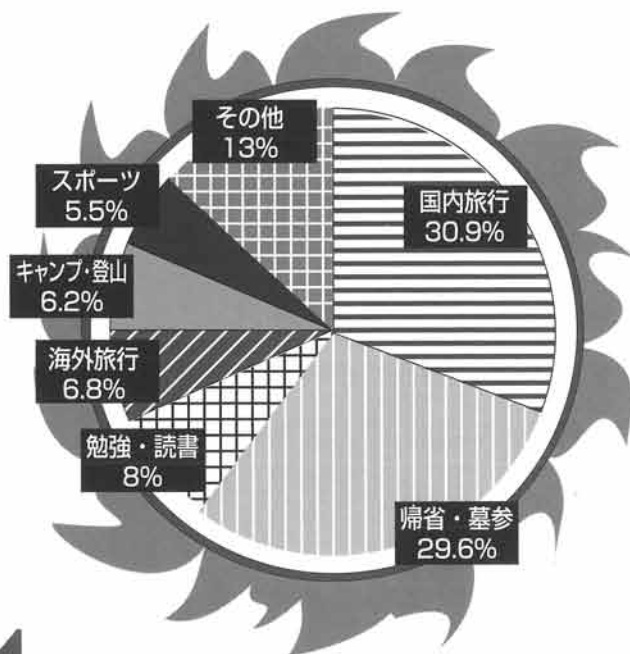
★ん？ そうだな。「口寝とかテレビ鑑賞とか思索とか、うーん、結構やることが多いな……。忙しくも充実した夏休みになりそうだ。楽しみだなあ、うおーっ！

☆充実、ね……。

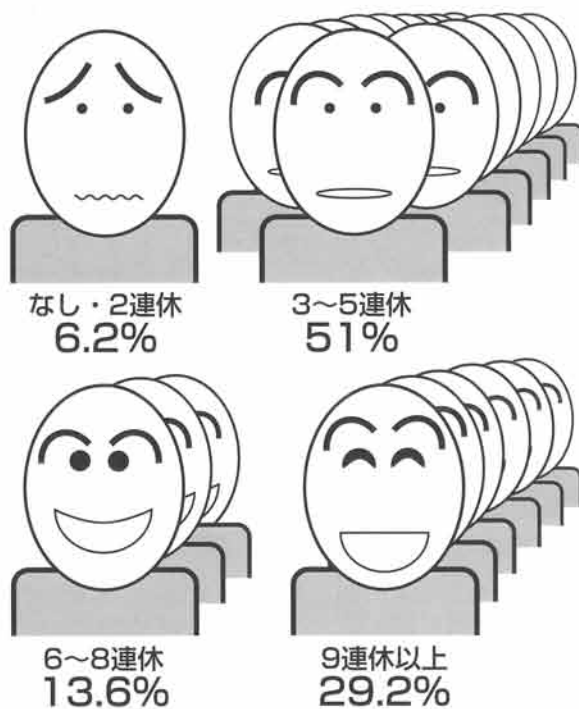
★何だよ冷たい目なんかしちゃってさ。そういうキミはどうやって過ごすんだよ。去年はどこだった？ ああ思い出した。オーストラリアに行って一向こうは冬ののよ！なんてはしゃいでたっけね。

☆今年ね、国内で海水浴でも行こうかと思ってるの。もう民宿も予約したし……。海外もいいけど、まあ、国内再発見っていうのも悪くないかしら、なんて。
 ★キミもボナスカットされたクチか……。
 ☆ギクッ！

何をして過ごすか



何連休取れそうか



7月13日付日本経済新聞より

日経新聞読者へのアンケート結果。連休については学生を除いた数字。9連休以上の割合が高くも見えるが、同紙の「昨年比べて休みが増えたか」という問いかけに対しては81.6%が「変わらない」。また、夏休みの過ごし方は国内旅行、帰省・墓参を合わせて6割以上を国内での移動が占めており、ツーリングもこのうちに含まれると思われる。昨年実施したアンケートと比較すると、国内・海外旅行の一人当たりの予算は、5万円未満の「堅実派」、20万円以上の「豪遊派」とも増加傾向にあり、旅の両極化が展望される。

SUMMER
VACATION

'97 Y.E.S.S. アースリーラン in SUGO

真夏のSUGOに1,500人のY.E.S.S.スタッフを集めて 『'97 Y.E.S.S. アースリーラン in SUGO』開催!!

■期日：'97年7月12日(土)～13日(日)
■会場：スポーツランドSUGO
■主催：ヤマハ発動機(株)
全国Y.E.S.S.ショップ会

全国規模のY.E.S.S.イベントとしては5年ぶりの開催となる『'97 Y.E.S.S. アースリーラン in SUGO』が、7月12～13日の二日間にわたり好天の宮城県・スポーツランドSUGOで開かれました。

当日は東北、関東エリアを中心に約1,500人のY.E.S.S.スタッフが駆けつけ、本コースを使ってのサーキット走行会やニューモデル試乗会、オフロードパークでのトレッキングスクール、モトクロスコースでのレースや親子バイクスクールなどを楽しみました。

また、12日夜には爆風スラムの野外コンサート&花火大会も行なわれ、集まったY.E.S.S.スタッフには忘れられない夏の日となりました。



①国際レーシングコースで開かれたニューモデル試乗会&体験走行会。「自分の愛車でサーキットを走れるなんて」と、多くのライダーの好評を集めた。またゲストの平忠彦さんのリアシートに乗ってのタンデム走行には、多くの女性ファンが殺到した。②一方、モトクロスコースではオフロード車の試乗会が行なわれたほか、各種のレースや、吉原朋正さんをインストラクターに迎えてのライディングスクールも実施された。③総合会社のイジリー岡田さんも驚いたトライアルのデモンストレーション。④広大なキャンプ場では、ショップごとにバーベキューパーティ。こちらはYSP足立中央とYOU SHOPアンファミ・スポーツのみなさん。⑤ゲストライダーの平さん、難波恭司選手、芳賀健輔選手も、走行会やゲーム大会で大活躍。⑥家族連れの出場者のために親子バイクスクールも実施。たくさんのファミリーで賑わった

PARTS & ACCESSORIES NEWS

SENSE UP

防寒性とファッション性、そして機能性を備えた秋冬シーズンの『TEAM YAMAHA』シリーズ



TY-145 3WAYブルゾン
¥26,800
好評発売中

■素材：[アウトター]
表・ナイロン100%ツイルPUコーティング
裏・ナイロン100%メッシュ
[インナー]
表・ナイロン100%タフタ
中綿・ポリエステル100%
裏・ポリエステル100%(トリコット起毛)
■カラー：レッド、ブルー、ブラック
■サイズ：M、L、LL
ライディングウェアとしての機能を満載した、ヤマハレーシングチームのレプリカブルゾン。防寒性能の高いインナーカーボンブルゾンを標準装備し、外気コンディションによって3バターの着こなしが楽しめる。TEAM YAMAHAシリーズのフラッグシップモデル。



レッド

TY-146 デタッチャブルオールウェザースーツ
¥17,800
9月1日発売予定

■素材：[アウトター]
表・ナイロン100%異形タフタ(PVCラミネート)
中綿・ポリエステル100%
裏・ナイロン100%タフタ
[インナー]ポリエステル100%フリース
■カラー：レッド、パープル、ブラック、シルバー
■サイズ：M、L、LL
肌触りの良い着脱式インナーフリースと、防寒・防水性能の高いパンツを装備したオールウェザースーツ。ウィンターシーズンのツーリングも、これ一着であらゆる気象条件に対応する。



ブルー レッド ブラック

TY-726 ウォームメカニクスーツ
¥15,800
9月1日発売予定

■素材：表・ポリエステル40%+綿60%TCツイル(形態安定加工)
中綿・ポリエステル100%
裏・ナイロン100%タフタ
■カラー：レッド、ブルー、ブラック
■サイズ：M、L、LL
冬の作業をサポートする防寒性の高いメカニクスーツ。裏地に保温性にすぐれた中綿キルトを採用したほか、腰部にカイロ用ポケットを設けるなど、従来のメカニクスーツにはない防寒性能を備えている。



シックな新色“グリーン”を追加設定。
全4色のカラーバリエーションで商品力をアップ

ヤマハスクーター

Vino

8月1日 発売

メーカー希望小売価格

169,000円

※北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(消費税を含む)は含まれません。

“かわいいレトロ感覚のファッションと充実の基本装備”でスクーター商戦をリードする「Vino」に、深みのあるダーク系グリーンを追加しました。男性のお客さまにもぜひお褒めいただきたい新色です。

追加カラー:

ベリーダークブルーメタリック3(グリーン)



吸排気系をリファインしたパワーユニット搭載
GPトレンド採用の新作カウル装着などで
戦闘力をアップした'98“TZシリーズ”

'98ヤマハロードレーサー

TZ250

10月1日 発売

(予約開始 9月1日)

メーカー希望小売価格 1,820,000円 (消費税を含まず)

エンジン関係では、まずインダクションボックス及び電磁式フェルポンプを新たに装備。さらにシリンダー、エキゾーストパイプの諸元変更などで、加速性、最高速、及び低中速のパワー感を向上させました。車体関連では、フェンダー、シート、カウルのデザインを変更し、空力特性を向上させたほか、細部の変更で、より戦闘力アップを図りました。

《主な変更点》

- インダクションボックス及び電磁式フェルポンプを新装備
- ポディシリンダーのタイミング変更及びエキゾーストパイプの諸元変更
- コーベット処理によるミッションの耐久性向上
- シート、フェンダー、カウリングの形状変更による空力特性向上
- フロントサスのアンダーブラケット変更(アルミ鍛造→アルミ押し出し材)
- ブレーキパッドの材質変更による制動力向上
- ドライブチェーンの変更(レーサー初の低フリクションシールタイプ採用)



世界選手権から国内のアマチュアレースまで幅広く活躍する“信頼のブランド”ヤマハ「TZ」シリーズに、'98モデルが登場します。これは、吸排気系の徹底した見直しで加速性能とドライバビリティの大幅な向上を実現。サスペンション関連にも、いっそうの充実化を施してよりコントロールな操縦性を引き出したほか、世界GPの最新トレンドをフィードバックした新作カウルを装着し、優れた空力特性も合わせて実現しています。

'98ヤマハロードレーサー

TZ125

11月1日 発売

(予約開始 9月1日)

メーカー希望小売価格 998,000円 (消費税を含まず)

ボア×ストロークを54×54.5mmにスクエア化するなどエンジン関係では主要パーツを新設計。加速性能と高速域での伸びを一層向上させました。また、ライディングポジションの最適化、サスペンションのディメンション見直し、空力特性の向上など、車体関連も細部にわたる変更で熟成を図りました。

《主な変更点》

- 燃焼室回りの最適化による加速性・トルクの向上。ボア×ストロークは、54×54.5mmに設定。また排気ポートは、Tポート4流掃気に変更
- ピストンの軽量化(12gの軽量化)による高回転化の達成
- ショートファンネルタイプ・パワージェット付きのケイヒンPWM38キャブレターを採用。ドライバビリティを向上
- 新作エキゾーストパイプの採用
- シングルシート形状変更による空力特性向上
- リアフレーム回りのディメンション変更
- サスペンションの熟成とライポジ変更による操縦性向上
- ブレーキパッドの材質変更による制動力向上
- エンジンマウント構造変更による整備性向上



**スーパースポーツ・ツインに
2つのニューカラーバージョン誕生**

ヤマハスポーツ

TRX850

8月5日発売

メーカー希望小売価格 **850,000円**
※北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(消費税を含む)は含まれません。

世界初の270度クランク採用パラレルツイン搭載。'95年のデビュー以来、エンスージャストからの強い支持を背景に、鈴鹿8耐や各種プロダクションレースでの活躍で優れた潜在能力を実証している「TRX850」に、「ブラック2」と「パーブリッシュブルーメタリック7」をカラー追加。より落ち着いた趣向を表現しています。スポーティな現行「ヒートレッド」と合わせて、3色のラインナップがそろいました。

追加カラー:ブラック2
パーブリッシュブルーメタリック7(ブルー)



ブラック2



パーブリッシュブルーメタリック7(ブルー)

業務に便利なグリップヒーター標準装備モデルが新登場

ヤマハ

ニュースギア

7月22日発売

メーカー希望小売価格 **210,000円**
※北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(消費税を含む)は含まれません。

フットブレーキや大型リアキャリア等の標準装備により、新聞配達作業での優れた積載力と使い勝手、走行性等を実現して広い支持を得ている「ニュースギア」(BA50NH)に、グリップヒーター標準装備車が追加。これでベーシックモデルの「BA50」、デラックスモデルの「BA50S」と合わせ、3タイプ4バリエーションのラインナップがさらに充実しました。



《セールスポイント》

グリップヒーターを標準装備——ハイ&ローの2段切り替えスイッチ付きのブリップヒーターを標準装備。冬場は「ハイ」、梅雨時や冷たい春秋の朝は「ロー」と使い分けも可能。より快適な配達作業をサポートします。

カラー:ライトグレースリッド4

ユーティリティ&スポーツATV2モデルがニューカラーで登場

空冷・SOHC・単気筒エンジン搭載。フルタイム4WDシステム、フロント・ダブルウィッシュボーン&リア・スイングアームサスペンション装備で高い走破力を誇るユーティリティモデル「YF400M-FW」。クラスNo.1のパワーウェイトレシオ、フロント・ダブルウィッシュボーン&リア・モノクロスサスペンションを生かして俊敏な運動性能を発揮するスポーツタイプの定番ATV「YF200S」が、それぞれ'98ニューカラーで登場しました。

ヤマハATV

**YF400M-FW
KODIAK**

8月10日発売

メーカー希望小売価格 **669,000円**
(消費税を含まず)

カラー:アロマグリーン



ヤマハATV

YF200S

8月10日発売

メーカー希望小売価格 **355,000円**
(消費税を含まず)

カラー:ラジカルホワイト/ディープパーブリッシュブルーソリッドE



YAMAHA **AD** CLIPS

**'86年デイトナ・200マイル優勝。
輝かしい記録と伝説を残した
FZ750カラーがいま鮮烈に甦る……。**

輝き80年代、あの輝煌時代の輝、再び。
'80年代、バイクは男の乗り物だった。バイクにかける執念は、まるで熱病のように我々メーカーだけでなく、ライダーをも熱くした。'86年AMAデイトナ200マイルレース、そこに、ヤマハは新しいマシンと非凡なるライダーを送り込んだ。FZ750とエディ・ローソンである。結果は、ホール・トゥ・フィニッシュで圧勝。そのFZ750こそが、今に続くヤマハの4ストローケレーシングの時代を開いたマシンだった。息子の血統、FZ400。伝説のFZカラーをまとい新登場。

■Model type / 418 ■Engine type / Liquid Cooled DOHC 4stroke inline 4 ■Displacement / 750cm³
 ■Max Power / 32.0kW (43.5hp) ■Max Torque / 2.7kgf・m (26.0kgm) ■Transmission / 6speed manual
 ■Dry weight / 177kg ■Seat height / 780mm ■Fuel tank capacity / 18.0L ■Fuel consumption / 20.0km/L ■Black / ... ¥629,000 [¥619,000]

◆この広告は、現在発売中の各二輪専門誌に掲載中です。

“ジェネシス” FZ750が、エディ・ローソンのライディングでデイトナを制したのは1986年のこと。それから11年、栄光のFZカラーは名前とともにFZ400に受け継がれた。ボディラインをよりシャープに引き締め、重厚な迫力さえ漂わせるニューバージョン。懐かしくも新しい、FZ伝説の新章が始まった。

モノカラー3色展開のFZ400に新しく加わった、往年のFZ750カラーバージョン。専門誌広告では、ダークトーンのバックにスポットライトでカラーリングのコントラストを強調するとともに、メカニカルな車体の硬質な美しさ、力強さを演出。さらに'86デイトナ・200マイルレースで優勝したローソン&FZ750の勇姿をちりばめて、FZ伝説に直結。ワイルドなスーパーストリートイメージを表現しています。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社